

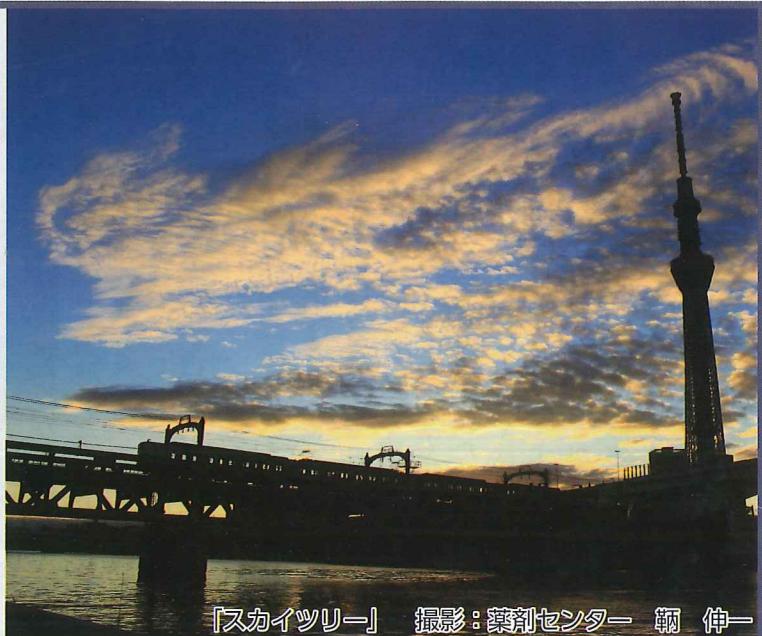
# ふれあい

2017

# 10

No.367

牛久愛和総合病院 広報誌

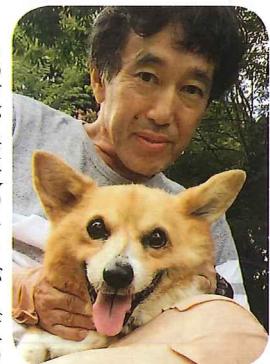


「スカイツリー」 撮影：薬剤センター 築 伸一

## ペットロスと〈虹の橋〉

特任副院長兼内科部長

瀬口 雅人



この夏、愛犬のチコが〈虹の橋〉にいつてしましました。16年8か月片時も離れることなく一緒に過ごしたので、今でもいた事がない事が信じられません。昨年の秋は一緒にキャンプも行けたのに、春から食欲が落ち、病院に連れて行くと、老化による慢性腎不全。腎臓の機能が徐々に落ちていく高齢犬に多い病気です。治ることはなく、進行を遅らせるために薬、点滴、食事療法、ほんと人間と一緒にですね。排泄もおむつになり、食事も介助が必要になり、徐々に足も立たなくなり、散歩に介助ハーネスが必要になり、それも難しくなるとベビーカーに乗せて行くようになりました。7月末に肺炎を起こし危篤の状態でしたが、奇跡的に回復し、前の週は公園にベビーカーで散歩に行けたのに（冒頭の写真です）その日は便の臭いで早朝の4時頃目が覚めました。チコは両目をいつぱいに見開いて僕のことを見つめていました。便が出ていた

ので、「よかつたね。うんちが出て」と声をかけながら、おむつを替え、お尻を洗おうと抱っこした瞬間に僕の腕の中で息を引き取りました。2日前に何か月ぶりに僕の足をペロペロなめ、じっと見つめていたのは、〈天国のほんのわずか手前に虹の橋と呼ばれるところがあり、人間を愛した動物たちはこの世を去ると虹の橋に向かいます。そこには草原が広がり、年老いた子も病気だった子も、元気いっぱい元の体を取り戻すのです。動物たちは元気いっぱい走りました。翌日火葬をし、お骨を拾い納骨し弔いました。それからしばらくは仕事中も生前のチコのことが頭から離れず、元気な時にもっと遊んであげればよかったです。もっと早く病気に気づいてあげればと後悔で胸を痛めました。現代社会では核家族化が進んだ影響で身内の死に向き合う機会が少ないとため、ペットの死を初めての身内の死として経験する事も多く、それを引きずり日常生活にも影響を及ぼすケースはペットロス症候群と呼ばれます。カウンセリングが必要な場合もあります。僕もその一歩手前でした。ペットロスを乗り越えるための対策としては①人間と同じように丁重に葬る。②思いつきり泣く。③ペットに手紙を書く。④体験者と対話をする。などが有効のようですが、僕の場合は何より16年間のチコとのたくさん思い出によつて後悔よりも感謝の気持ちが強くなり、抜け出せた気がしません。〈虹の橋〉とはペットを失った愛犬家の間で広まつた作者不詳の詩で、大変勇気づけられましたので抜粋し紹介します。

## ここが知りたい！ Q&Aコーナー

多くの種類の薬を飲んでいますが、何か気をつけることはありますか？

あちらこちらの病院にかかるたくさんの中の薬をもらってきて、これ全部いつしょに飲んで大丈夫なの？と思つたことはありませんか？

ひとつの診療科を受診して、一枚の処方せんでも調剤された薬は飲み合わせを気にする必要はありませんが、複数の病院や診療所で出された薬を同時に使う場合や、薬局で買つた薬をいつしょに飲む場合などは思ひぬ危険が潜んでいます。このこともあり注意が必要です。

循環器科などで処方されるワーフアリン（血液を固まりにくくする薬）はグラケー（骨粗鬆症治療薬）といつしょに服用すると、ワーフアリンと拮抗して薬が効きにくくなってしまいます。この場合は、グラケーの服用を中止することになります。

また、薬は食品や嗜好品とも相互作用をおこします。

「フランクマリン」という成分

は、肝臓にある代謝酵素の働きを弱め、薬の効き目を強めています。高血圧の薬や心臓病の薬、脂質異常症の薬など、さまざまな薬の作用を強めてしまい、効きすぎて危険な状態になることもあります。

「薬との相性の悪い食品は、時間を空けてとればいい」というのが基本ではあります。が、グレープフルーツでは、その影響が数日続くこともあるため注意が必要です。

まだまだ数えきれないほど

の相互作用が薬や食品にはあります。では、薬を有効かつ安全に使うにはどうしたらいいでしょうか？現在のところ一番よい方法は、「お薬手帳」を活用することです。診察や調剤を受ける際に、医師や薬剤師にお薬手帳を提示していただきことで、お薬の重複や飲み合わせのチェック、アルギー歴や副作用歴の確認などが可能となります。いつも診察券や保険証と一緒に携帯するように心がけてください。

（薬剤センター・鈴木さつき）

## D M カフエ

糖尿病・代謝内科 宜保 英彦

糖尿病において、食事療法、

が、各個人の病状によって推奨される運動が異なりますので、

一度主治医とご相談ください。

暑さも和らぎ、過ごしやすい季節、まずは「1日の歩数を増やす努力」から、始めてみま

す。

機関として、平成29年9月8日に「救急医療功労者大臣表

彰」を当院が受賞しました。

待され、結果的に動脈硬化や

尿病合併症の進展を防ぐことにつながります。患者さんの中に

は、「1か月運動をやってみたけ

ど、検査結果があまり改善せずにやめてしまった」という方もいらっしゃいますが、運動療法

は短期的な結果よりも、続けて

いくことで大きな効果を發揮しますので、諦めずに継続していく

ことが大事です。運動療法には、有酸素運動、レジスタンス

運動など様々な方法があります

（理学療法士）

運動療法について

11月8日(水) 糖尿病について（宜保医師）

11月15日(水) 糖尿病教室のご案内

11月22日(水) 糖尿病と薬（薬剤師）

◆時間：14時30分～

◆場所：C館1階からだ情報館

（事前予約不要、参加費無料）

## 第64回 生活習慣病教室

会 場 牛久愛和総合病院  
日 時 平成29年11月17日(金)  
14時30分から 約1時間

講 師 認定看護師

橋本 由美

◆時間：14時30分～

◆場所：C館1階からだ情報館

（事前予約不要、参加費無料）

興味のある方は、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

◎お問い合わせ先  
牛久愛和総合病院 総務課

☎ 029-873-3111(代)

入 職 者

9月1日付  
■看護部

看護師 久松 まゆみ  
病院、病棟、仕事に早く慣れ、患者さんに信頼される看護が提  
供できるよう努めています。





## 春秋園だより

朝夕は肌寒さを感じるようになり、秋の気配がつける今日この頃です。

さて今回は、先日行われた入所での敬老会の模様をご紹介致します。2、3、4階合同で行う敬老会は、今年で4回目。一階ディアフロアにて9月17日（日）に開催しました。

開会挨拶のあと、まずは中学生の女の子によるバレエが始まり、美しいクラシックの音楽と踊りで

アーティストもいて、その元気あふれる笑顔と踊りに、利用者様からも「あら、ちっちゃいね」と笑顔がで

きました。その後は、スタッフによる余興で、懐かしいピンクレディーのUFOを歌い踊ったり、獅子舞が笛の音と共に利用者様のまわりをまわったり、余興の最後は、ピアノに合わせて皆で「里の秋」を歌いました。余興の際には利用者様も手作りのマラカスを鳴らして歌つたり、一緒に盛り上げてください、「楽しかったよ」など、お言葉をたくさん頂きました。

そして最後は、米寿や卒寿といつたご長寿のお祝いです。今年節目となるご長寿の方は21名。その中には100歳以上の方もいらっしゃり、最高齢は103歳！皆様の長寿の秘訣は何なのでしょう？

今後も入所では様々なイベントを行っていきますので、利用者様と一緒にご家族様にも楽しんで頂ければと思います。

（入所スタッフ職員一同）

会場に花が咲きました。その次は、ボランティアの皆さんによるフラダンス。とても小さなお子さんダンサーもいて、その元気あふれる笑顔と踊りに、利用者様からも「あら、ちっちゃいね」と笑顔がで

きました。その後は、スタッフによる余興で、懐かしいピンクレディーのUFOを歌い踊ったり、獅子舞が笛の音と共に利用者様のまわりをまわったり、余興の最後は、ピアノに合わせて皆で「里の秋」を歌いました。余興の際には利用者様も手作りのマラカスを鳴らして歌つたり、一緒に盛り上げてください、「楽しかったよ」など、お言葉をたくさん頂きました。

そして最後は、米寿や卒寿といつたご長寿のお祝いです。今年節目となるご長寿の方は21名。その中には100歳以上の方もいらっしゃり、最高齢は103歳！皆様の長寿の秘訣は何なのでしょう？

今後も入所では様々なイベントを行っていきますので、利用者様と一緒にご家族様にも楽しんで頂ければと思います。

## 職種紹介コーナー

### 視能訓練士

眼科 視能訓練士 金久保 由香

「旅行」

研修医

田崎 愛理

**Dr.趣味リレー**



ここにちは。今月は眼科で従事している「視能訓練士」についてご紹介させていただきます。視能訓練士は眼科医師の指示の下、眼科領域における検査や訓練を行なう国家資格を持つ専門職です。全国には約1万3千人ほどおり、当院には今年フレッシュな新人が1名入職し、3名になりました。

では、具体的にどんな仕事をしているのかご紹介いたします。大きく分けて2つに分けられます。1つ目は「眼科一般検査」、2つ目は「斜視や弱視といった検査・訓練」です。

1つ目の「眼科一般検査」とは、視力検査、眼圧検査（眼の硬さを測定する検査）、視野検査（見える範囲を測定する検査）、眼底写真撮影、白内障術前検査、色覚検査などです。私たちが検査した結果は医師によ

る診断や治療方針へ直接関わるため、正確かつ迅速な検査が求められます。

2つ目の「斜視や弱視」といった検査・訓練についてでは、眼の位置が左右で異なる斜視の検査、生まれつき何らかの原因で視力の発達が十分にできず、視力が出づらいお子様の検査や訓練をします。人間の眼は幼少期に視機能の基礎が完成されてしまっていますので、将来の視機能を担う仕事に責任、やりがいを感じております。

幅広い年齢層の方とコミュニケーションを図り、患者さんのニーズにあつた対応を心がけています。眼のことをお困りな点がございましたら、お気軽にご相談ください。私たち視能訓練士は眼の健康をお守りする為、少しでもお力添えが出来るように頑張っております。

現地の人たちに話しかけてみるのもまた旅を彩ってくれる。違う環境で育ち、異なる言語を話す人々の食文化を持つているこの人たちは何を考えているのか。ここでは絶対に体験すべきと思うことをアドバイスしてもうのもまた一つの楽しみ方かも

もしれない。

旅行者である強みをいかし、現地の人たちに話しかけてみるのもまた旅を彩ってくれる。違う環境で育ち、異なる言語を話す人々の食文化を持つっているこの人たちは何を考えているのか。ここでは絶対に体験すべきと思うことをアドバイスしてもうのもまた一つの楽しみ方かも

## 医療安全講習会

6/27  
7/12・26

看護師と  
一緒に行  
動し、血  
圧測定・  
シーツ交  
換など

様々な体  
験をしま  
した。

今回、平成29年度医療安全研修会（前期分）として6月27日、7月12・26日と3回に分け「当院の医療安全の現状」をテーマにRST委員会と医療安全推進室による2部構成で、実際に当院で発生した事例を基に研修会を実施しました。毎回17時30分と業務が終了してからの開催になりますが、参加者は全職員800名に対し83・5%の出席率と、多くの方々に協力して頂く事が出来ました。

今後も、研修会の開催や院内巡回によるチェックを行うことで、患者さんに安全・安楽な医療を提供できるように努めて行きたいと考えております。

講師…

RST委員会  
大澤 聰弘（呼吸療法認定士）

医療安全推進室 古木 和哉  
(医療安全推進室…古木)

看護体験では臨床現場で働く  
7月25・26日に「高校生一日  
看護体験」、8月16・22日に「高  
校生一日リハビリ体験」が開催  
されました。

## 高校生一日体験

### 編集だより

秋の爽やかな風が心地良い季節となりました。秋といえば、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・と盛りだくさんですね。皆さんはどのような秋を満喫されていますか？(S・F)

（人事部…瀧田）

リハビリ体験では、どうやって患者さんと接しているのかを見学・体験することができます。体験終了後「業務を間近で見学し、イメージがはつきりとした」という感想が多く、自分の将来像がより見えた1日となつたのではないかと感じています。

今回行ったような体験などを通して、今まで以上に医療関係の仕事に興味を持ち、従事してくれる高校生が一人でも増えてくれればと願っています。



**病院理念** 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

### 病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床）

### 施設

敷地 59,449.60m<sup>2</sup> 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院  
医療法人社団 常仁会

## 牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地  
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031  
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

### 関連施設

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

